

# 東北地方 1か月予報

(2月10日から3月9日までの天候見通し)

平成19年2月9日  
仙台管区気象台発表

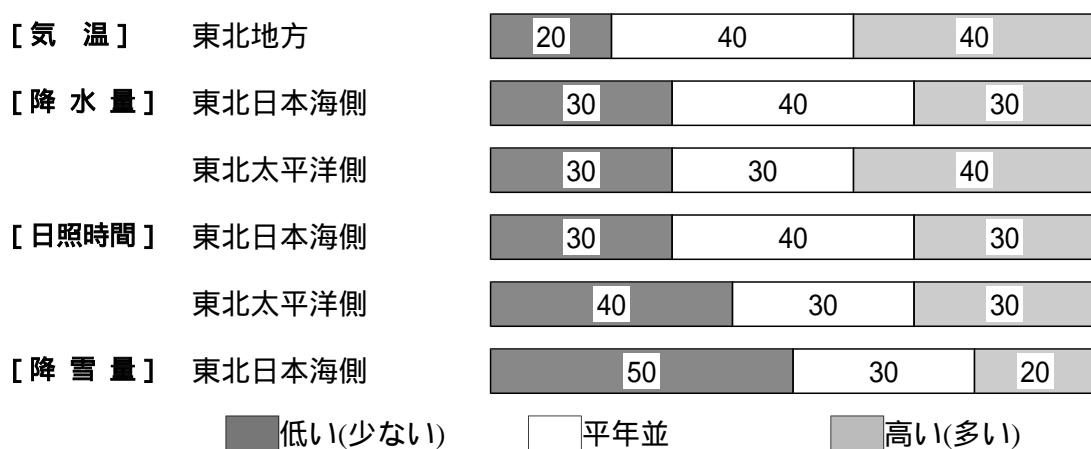
## <予想される向こう1か月の天候>

冬型の気圧配置は長続きせず、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

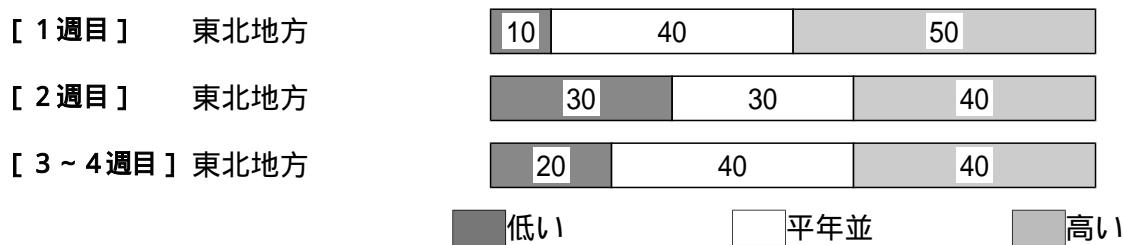
平均気温は、平年並または高い確率がともに40%です。東北日本海側の降雪量は少ない確率が50%です。

週別の気温は、1週目は高い確率が50%、3~4週目は平年並または高い確率がともに40%です。

## <向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



## <気温経過の各階級の確率(%)>



## <予報の対象期間>

- 1か月 : 2月10日(土) ~ 3月9日(金)  
1週目 : 2月10日(土) ~ 2月16日(金)  
2週目 : 2月17日(土) ~ 2月23日(金)  
3~4週目 : 2月24日(土) ~ 3月9日(金)

## <次回発表予定等>

- 1か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は2月16日  
3か月予報: 2月22日(木) 14時  
暖候期予報: 2月22日(木) 14時

## <参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3～4週目の平均気温)

	気温 ( )	降水量 (mm)	日照時間 (時間)	降雪量 (cm)	気温( )		
					1週目	2週目	3～4週目
青森	-0.4	95.3	87.8	166	-1.3	-0.8	0.3
深浦	0.4	73.2	62.6	97	-0.4	0.0	1.0
むつ	-0.9	79.7	105.5	151	-1.8	-1.2	-0.2
八戸	-0.2	47.8	138.4	91	-1.1	-0.6	0.5
秋田	0.9	89.3	79.6	100	0.0	0.4	1.5
盛岡	-0.8	57.7	135.1	82	-1.7	-1.2	-0.1
大船渡	1.5	58.4	143.1	28	0.8	1.2	2.0
宮古	0.9	74.9	153.9	63	0.1	0.5	1.4
仙台	2.4	50.5	154.0	28	1.7	2.0	2.9
石巻	1.6	45.2	164.1	21	0.8	1.2	2.2
山形	0.5	64.0	109.9	124	-0.3	0.1	1.2
新庄	-0.3	125.4	70.0	202	-1.0	-0.7	0.3
酒田	2.1	102.8	74.7	95	1.3	1.7	2.6
福島	2.5	52.5	149.6	56	1.7	2.1	3.1
若松	0.4	62.7	105.4	131	-0.5	0.0	1.0
白河	1.2	45.4	156.5	43	0.4	0.8	1.8
小名浜	4.3	64.4	171.0	0	3.6	4.0	4.8

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971～2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.6～+0.6	80～112	97～104	74～118
東北日本海側	-0.5～+0.5	92～108	91～106	89～120
東北太平洋側	-0.5～+0.6	66～120	98～104	65～119

(3) この予報期間の1週目、2週目、3～4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3～4週目
東北地方	-0.9～+1.0	-0.9～+0.9	-0.5～+0.5
東北日本海側	-0.8～+1.0	-0.9～+0.9	-0.6～+0.5
東北太平洋側	-0.8～+1.0	-0.9～+0.9	-0.5～+0.6

## <参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった10%以下や60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

# 東北地方 1か月予報解説資料

平成19年2月9日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

### 向こう1か月(2月10日~3月9日) :

冬型の気圧配置は長続きせず、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

### 1週目(2月10日~2月16日) :

東北日本海側は気圧の谷や寒気の影響により雪や雨の日が多いでしょう。東北太平洋側は期間のはじめと中頃は気圧の谷の影響により雨や雪の日がありますが、その他の日は沿岸部を中心に晴れる見込みです。

平均気温は高い確率が50%です。

### 2週目(2月17日~2月23日) :

冬型の気圧配置となる日が多いでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

### 3~4週目(2月24日~3月9日) :

冬型の気圧配置となる日は少なく、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

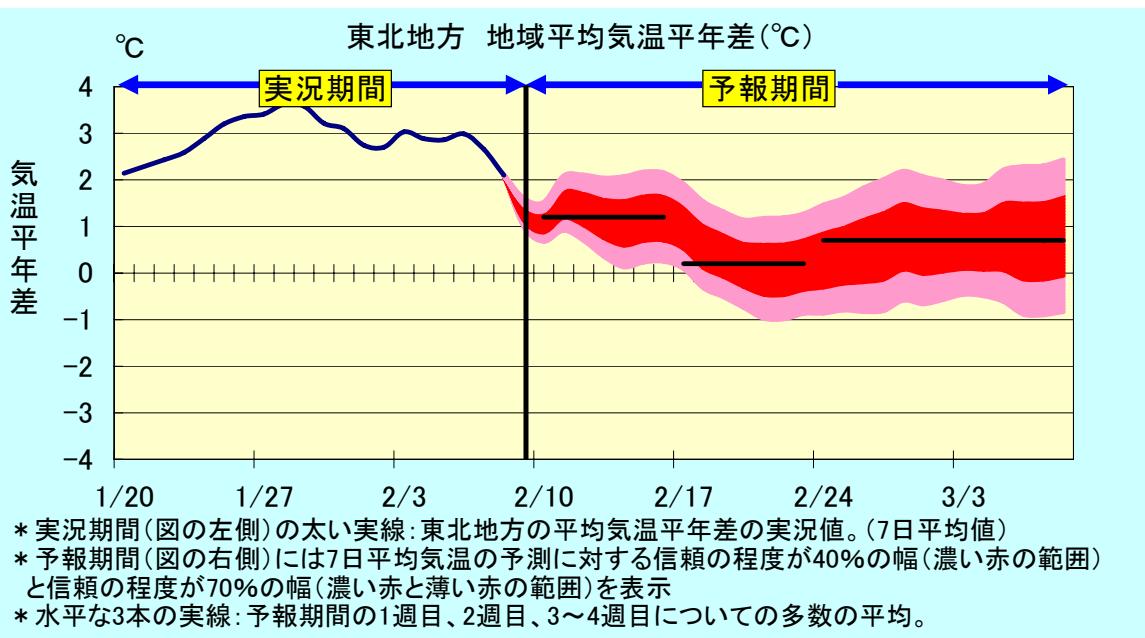
平均気温は平年並または高い確率がともに40%です。

## 平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	8.0日	1.6日	1.6日	4.8日
東北太平洋側	17.7日	4.5日	4.2日	9.0日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1週目と3~4週目は平年を上回り、2週目は平年並付近の予想となっている。なお、数値予報の信頼度は大きい。

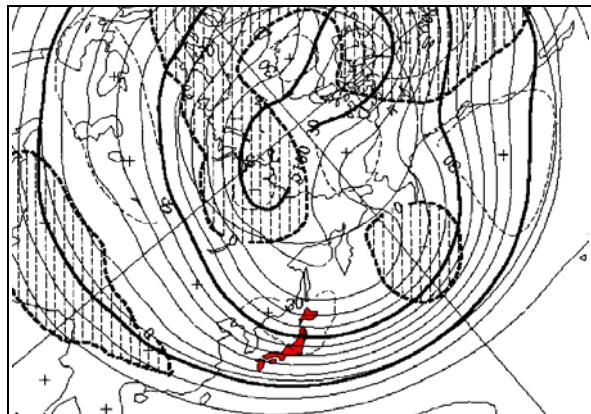


### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

**1か月平均**：中緯度は正偏差のところが多く、東北地方は30m以上の正偏差が分布している。このため、持続的に強い寒気が南下する可能性は小さい。

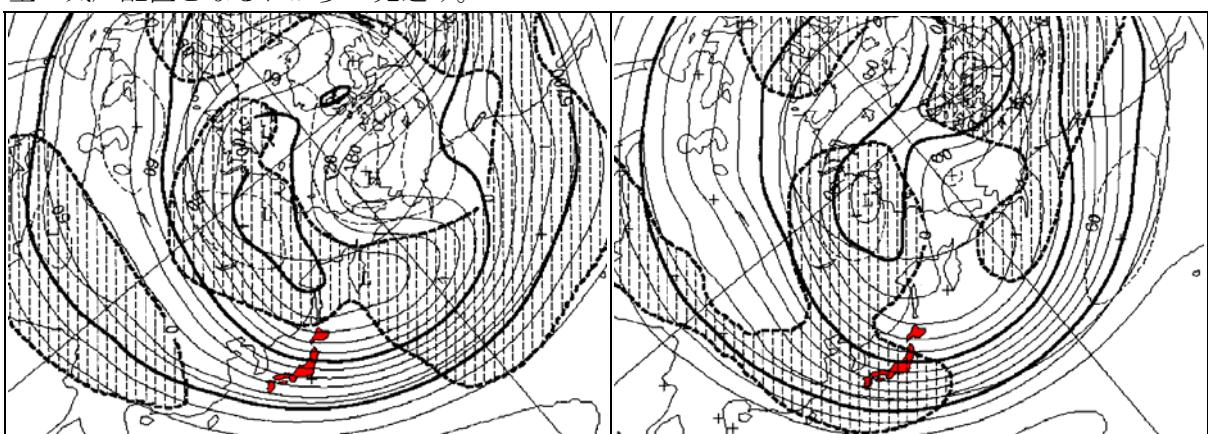
**1週目**：日本域は正偏差に覆われている。このため、東北地方の気温は高くなる可能性が高い。一方、シベリアから太平洋中部にかけては負偏差域が分布。このためアリューシャン低気圧は平年よりも強いが、東北地方への影響は小さく、強い寒気の南下はない見込み。

**2週目**：1週目の特徴とは異なり、中国から伸びる負偏差域が東北地方以南を覆う。ただし負偏差の程度はそれほど大きくない。平年と同様に冬型の気圧配置となる日が多い見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図

(図の見方は1,2週目と同じ  
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

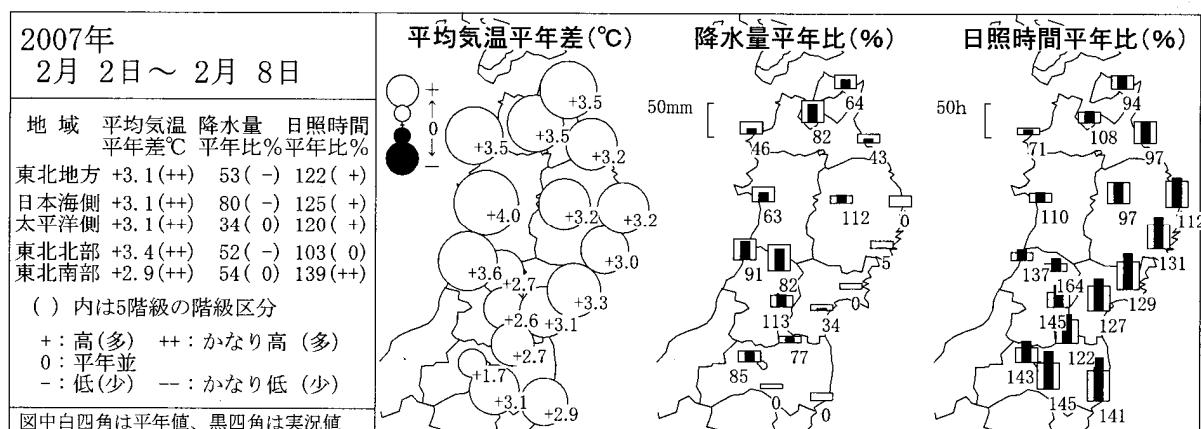
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、平年差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

### 4. 最近1週間（2月2日～2月8日）の天候の経過

この期間、冬型の気圧配置は弱く、3日および5日～6日は前線を伴った低気圧が東北の北を東進して暖かい空気が流れ込んだ。このため気温の高い日が続いた。4日は寒冷前線通過後に一時的に冬型の気圧配置が強まったため、強い西風が吹き荒れ、列車の運休などの影響が出た。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北南部でかなり多く、東北北部で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）